御所本『三十六人集』(宮内庁書陵部蔵)の筆蹟と筆者

Ī

条宮下野集』等の筆者の究明にも適用できる 貞享二年(一六八五)五月に冷泉家本を転写した(後掲『中院通茂日記』)御所本『四 和二年正月以前、 は東園基量『基量卿記』の天和二年(1六八三正月の二件の記事により天 寂本等を親本として書写されたことか明らかになっている(2)。書写年代 泉家時雨亭文庫蔵本の影印公刊により冷泉家所蔵の資経本・承空本・素 と略称〕(五10—11)系統の三系統に分類される(1)。 この御所本『三十六 二類・歌仙家集正保板本系統、三類・宮内庁書陵部蔵御所本(以下「御所本 ほぼ確定した。また、 (五五四-ている(3)。近時この時期の書写で筆者目録を有する御所本『源氏物語 人集』の個々の家集の殆どは従来異本あるいは孤本とされてきたが、冷 た三六人の家集の集合体のことである。現存本は一類・西本願寺本系統: 『三十六人集』とは、藤原公任が編纂した『三十六人撰』に撰入され -<!)の筆蹟と対照・同定したところ御所本『三十六人集』の筆者が すなわち延宝年間末から天和元年であることが判明し 御所本『源氏物語』から知られる筆蹟の筆者は、

本稿では御所本『源氏物語』の筆者目録を紹介しつつその筆蹟が御所

た御所本歌書群の筆者の究明について今後の見通しを述べたい。者を明らかにする。そして、貞享二年に冷泉家本を親本として書写され本『三十六人集』の筆跡と照応することを図版により具体的に示し、筆

酒井

茂

幸 *

二 御所本『三十六人集』の書写年次

まず『基量卿記』天和二年正月九日条に以下のようにある。されてきた(4)。また、貞享二年の書写という説もある(5)。ところが、改所本『三十六人集』の書写年代は従来、近世極初期から寛文以前と

番旧冬被仰出家集〈信明集/一冊〉・朗詠〈従瑠璃至夏夜〉書写献上了、と見える。禁裏から基量に書写・献上を仰せ出した記事である。「家集〈と見える。禁裏から基量に書写・献上を仰せ出した記事である。「家集〈に述べる通り御所本『三十六人集』所収『信明集』と御所本『信明年】は、禁裏に収蔵されたと思われ、現存の禁裏本から該当はない。自ずと御所本『三十六人集』所収『信明集』と御所本『信明本い。自ずと御所本『三十六人集』所収『信明集』と御所本『信明本い。自ずと御所本『三十六人集』所収本が浮上し、この本の筆蹟をはない。自ずと御所本『三十六人集』所収本が浮上し、この本の筆蹟をはない。自ずと御所本『源氏物語』(五五四一八の筆蹟と対照させると、筆名を探すと、連続である。当該記事は霊元天皇が着目録に「東園宰相」とある澪標巻に合致する。当該記事は霊元天皇が着目録に「東園宰相」とある澪標巻に合致する。当該記事は霊元天皇が着目録に「東園宰相」とある澪標巻に合致する。当該記事は霊元天皇が着目録に「東園宰相」とある澪標巻に合致する。当該記事は霊元天皇が着目録に「東國等相」とある澪標巻に合致する。当該記事は霊元天皇が着目録に「東國等相」とある澪標を記述と思います。

埼玉大学教育機構非常勤講師 *さかい・しげゆき

日条に次のように見える。ことによることではないか。というのも、『基量卿記』天和二年正月一八現在の御所本『三十六人集』の編纂のために基量に分担書写を下命した

巻・黄金二枚、戸田山城守へ被下也、書付冷泉少将少将外家目六武者小路少、将書之>朗詠<諸家筆>二書付冷泉少将少将外家目六武者小路少、将書之>朗詠<諸家筆>二摂家/筆、外題新、院勅筆×〈クワリン箱ニ入、紫緒銀之金物蔵之、摂家/筆、外題新、院勅筆×〈クワリン箱ニ入、紫緒銀之金物蔵之、摂家/筆、外題新、院勅筆×〈クワリン箱ニ入、紫緒銀之金物蔵之、「標準」(注意)

これは、霊元天皇が、京都所司代の戸田忠昌と稲葉正通(『柳鶯補任』)がまり合い書で後西天皇宸翰の題簽を有し照応する。霊元天皇は正月九が寄り合い書で後西天皇宸翰の題簽を有し照応する。霊元天皇は正月九が寄り合い書で後西天皇宸翰の題簽を有し照応する。霊元天皇は正月九が寄り合い書で後西天皇宸翰の題簽を有し照応する。霊元天皇は正月九日以降門跡・堂上公家の諸家から献上された書写本を一八日までに集成し『三十六人集』として編纂したものと思われる。御所本『三十六人集』は霊元天皇の禁裏における個別の複写事業として成されたことが会得されよう。

十六人集」の一五本が、定家筆本乃至は定家・坊門局両筆本に加え、宝治後、冷泉家時雨亭文庫蔵本の影印公刊により研究が進展し、「定家本系三分類した(?)。橋本が「定家本系」と称したのは、この中で、定家筆本ある本の綴葉装で蝋染表紙の同装同形の二〇家集を「定家本系三十六人集」となお、この御所本『三十六人集』との対比から、橋本不美男は、桝形

家本を親本として書写されたものと考えられる。とが明らかになっている(8)。「定家本系三十六人集」二〇本に見出されるとが明らかになっている(8)。「定家本系三十六人集」二〇本に見出されるとが明らかになっている(8)。「定家本系三十六人集」二〇本に見出される。

の各家集の筆者を明らかにする。の筆蹟を御所本『三十六人集』のそれと対照させ、御所本『三十六人集』のそれと対照させ、御所本『三十六人集』の筆者目録の筆者名を掲出した上でそ

三 御所本『源氏物語』の筆者目録と御所本『三十六人集』

の筆者

位記載の筆者名を比定する。まず御所本『源氏物語』に附属される筆者目録を全文翻刻した上で官

源氏目録

源氏目録

筆者自録

紅葉賀	末摘花	若紫	夕顔	空蝉	箒木	桐壺
通茂	飛鳥井一位	醍醐中納言	前内大臣	日野前大納言	左大臣	照高院宮
_	_	_	_	_	_	_
7	6	5	4	3	2	1
中院通茂	飛鳥井雅章	醍醐冬基	徳大寺実維	日野弘資	近衛基凞	道澄法親王

蘭	行幸	野分	篝火	常夏	蛍	胡蝶	初音	玉鬘	乙女	槿	薄雲	松風	絵合	関屋	蓬生	澪標	明石	須磨	花散里	榊	葵	花宴
日野前大納言	通茂	右大臣	左大臣	西園寺中納言	一条院宮	柳原大納言	白川二位	松木前大納言	石井少納言	葉川中将	野宮中納言	梅園三位	妙法院宮	前関白	平松中納言	東園宰相	平松大納言	裏松三位	園前大納言	烏丸大納言	日野中納言	自川二位
一3日野弘資	一 7 中院通茂	一 26 一条冬経	一 2 近衛基凞	25 西園寺兼敦	24 真敬法親王	23 柳原資行	一8 白川雅喬	一22 松木宗条	一21 石井行豊	20 葉川基起	19 野宮定縁	18 梅園季保	17 尭恕法親王	16 鷹司房輔	一 15 平松時量	14 園土	一13 平松時方	12 裏松意光	11 園基福	一10 烏丸光雄	一 9 日野資茂	一8 白川雅喬
手習	蜻蛉	浮舟	東屋	蓬生	早蕨	角総	椎本	橋姫	竹川	紅梅	匂宮	幻	御法	夕霧	鈴虫	横笛	柏木	若菜下	若菜上	藤裏葉	梅枝	槙柱
徳大寺前内大臣一	梅小路民部大輔一	愛宕宰相	千種宰相	東園宰相	三条大納言	藪中将 —	中御門前大納言一	清閑寺大納言	内大臣	平松少納言	飛鳥井中将	石井少納言 一	正親町中納言	小倉宰相	甘露寺大納言 一	押小路中将	持明院宰相	三室戸右兵衛佐一	庭田宰相	清水谷宰相	右大将	菊亭中納言
4 徳大寺実維	46 梅小路共方	45 愛宕通福	44 千種有維	43 東園基量	42 三条実通	41 藪嗣章	40 中御門資凞	39 清閑寺凞房	38 大炊御門経光	13 平松時方	37 飛鳥井雅豊	21 石井行豊	36 正親町公通	35 小倉公連	34 甘露寺方長	33 押小路公起	32 持明院基起	31 三室戸誠光	30 庭田重条	29 清水谷実業	28 今出川公規	27 今出川伊季

本資料は、中院通茂が官位を記載せず実名で記していることから7中院 夢浮橋 霊元天皇 ⑤小大君集 40

されており(10)、19野宮定縁が延宝五年九月一六日に没していること が問題となるが、あとは官位表記からこの推定は妥当である。 通茂がまとめたものであることが分かる。成立は従来延宝七八年ころと

り御所本『三十六人集』の筆蹟と対照させて同定し(上冷泉為綱のみ自筆 六人集』の順に直して一覧にする(①から⑱及び 26 から1の通し番号は 短冊を援用)、そこから得られた御所本『三十六人集』の筆者名を『三十 次に、この筆写目録により判明する本文の筆蹟を【図版】に示した通

【図版】に対応)。

①柿本集 26 一条冬経

②躬恒集 2 近衛基凞

④猿丸集 ③素性集 9 日野弘茂 10 烏丸光雄

⑤家持集 28 今出川公規

⑥業平集 36 小倉公連

⑦兼輔集 [該当ノ筆蹟ナシ]

⑧敦忠集 36 正親町公通

⑨公忠集 42 三条実通

⑩斎宮集 4 徳大寺実維

⑪宗于集 24 真敬法親王

⑫清正集 12 裏松意光

①興風集

47

霊元天皇

44是則集 3 日野弘資

中御門宣凞

16敏行集 23 柳原資行

17能宣集 20 葉川基起

⑧兼盛集

27 今出川伊季

19貫之集 11 園基福

②伊勢集 27 今出川伊季

②赤人集 12 裏松意光

②遍昭集 20 葉川基起

②元輔集 20 葉川基起 ②順集

10 烏丸光雄

②朝忠集 上冷泉為綱

26高光集 6 飛鳥井雅章

②友則集 10 烏丸光雄

②小町集 ②忠岑集 31 三室戸誠光 [該当ノ筆蹟ナシ]

30頼基集 [該当ノ筆蹟ナシ]

③重之集 2 近衛基凞

32信明集 14 園基量

34仲文集 20 葉川基起

③元真集

33 押小路公起

③忠見集 16 鷹司房輔

36中務集

1 道澄法親王

兀

トであったことが想像される。御所本『三十六人集』の作成は、霊元天皇禁裏における一大プロジェク衛基凞・鷹司房輔が指摘でき、一部に霊元天皇による宸筆も認められる。のたが、門跡として真敬法親王・道澄法親王、摂家として一条冬経・近先の『基量卿記』天和二年正月一八日条には「諸家・門跡・摂関」とあ

今後の究明の見通しを述べたい。

今後の究明の見通しを述べたい。

本系的に書写され、その数は『基量卿記』に拠ると「三百廿冊余」であるて、冷泉家本は貞享二年四月五月に祗候の近臣を動員して組織的・

四 貞享二年四月五月の冷泉家本の転写本の筆蹟と書誌

ある記事である(3)が、『中院通茂日記』貞享二年五月二日条に、
の現在の御所本『四条宮下野集』の書写事蹟が、既に諸家により言及の
の現在の御所本『四条宮下野集』の書写事蹟が、既に諸家により言及の
本の影印公刊により(12)忠実な転写本であることが明らかとなった。こ
本の影印公刊により(12)忠実な転写本であることが明らかとなった。こ
本の影印公刊により(12)忠実な転写本であることが明らかとなった。こ
本の影印公刊により(12)忠実な転写本であることが明らかとなった。こ
の現在の御所本『四条宮下野集』は長らく天下の孤本とされ、活字翻刻や注釈

ように見える。とある。通茂自身の書写のこととも読めるが、四月一七日条に以下のとある。通茂自身の書写のこととも読めるが、四月一七日条に以下の二日、陰、無外題不知御右筆・四条宮下野集團業、未終集、退出了

勤也十七日、晴、通鑑再見、有触、御書写物之間、明日辰之刻ニ有可参

四月十七日

られる。 と合致する。よって貞享二年の一連の書写事業の中で転写されたと認め 繋ぎの蝋染である点は、法量が異なるものの現存の御所本で『中院通茂 とが判明している御所本私家集の筆蹟と筆者については、 日記』に書名が見え貞享二年の書写と知られる『左京大夫集』以下八種 群二十種との関連について述べる。 物語』の筆蹟と照合することで明らかになってくることが期待される。 条宮下野集』の筆者は清水谷実業なのである。冷泉家本の転写であるこ らし合わせると、清水谷実業のそれが一致する。すなわち、 はいずれも前掲・御所本『源氏物語』「筆者目録」に名が見える。この六 人の『源氏物語』の本文の筆蹟と御所本『四条宮下野集』の筆跡とを照 当初はこの六人により書写が行われたようである。そして、この六人 次に先述の橋本不美男が「定家本系三十六人集」とした御所本私家集 愛宕前宰相 清閑寺大納言殿・園前大納言殿・中院前大納言 殿・清水谷中納言 殿・三室戸中務大輔・持明院中将 装訂が綴葉装で、表紙は飴色の花菱 殿·飛鳥井中将 御所本『源氏 御所本『四

蹟に関しては、本稿で問題とした御所本『源氏物語』付載「筆者目録」 霊元天皇宸翰の直書外題を有し表紙は香色地に金銀の砂子・箔・野毛に まり雲霞を描いたものである。これは、『中院通茂日記』に書名が見え貞 より雲霞を描いたものである。これは、『中院通茂日記』に書名が見え貞 より雲霞を描いたものである。これは、『中院通茂日記』に書名が見え貞 なお、御所本『伊勢集』(五○1-三九三)は、冷泉家旧蔵とされる天理大 なお、御所本『伊勢集』(五○1-三九三)は、冷泉家旧蔵とされる天理大

は異なるようである。を通じて窺見する限り御所本『三十六人集』や同『四条宮下野集』等と

五 おわりに

重なっており、今後も究明を続けていきたい。

「筆者目録」により筆者が判明する御所本『源氏物語』の筆蹟と照合・下皇の禁裏における個別の複写事業として成された一大プロジェクトで下皇の禁裏における個別の複写事業として成された一大プロジェクトで下皇の禁裏における個別の複写事業として成された一大プロジェクトで下皇の禁裏における個別の複写事業として成された一大プロジェクトで下皇の禁裏における個別の複写事業として成された一大プロジェクトで下皇の禁裏における個別の複写事業として成された一大プロジェクトで「筆者目録」により筆者が判明する御所本『三十六人集』の書写年次を天和二年正月以前に以上本稿では御所本『三十六人集』の書写年次を天和二年正月以前に以上本稿では御所本『三十六人集』の書写年次を天和二年正月以前に

- (2)前掲注(1)島田・千艘編著。なお、冷泉家時雨亭文庫蔵擬定家本私家集の出現により親本の修正が提唱されている。藤本孝一「擬起家集の出現により親本の修正が提唱されている。藤本孝一「擬記家集の出現により親本の修正が提唱されている。藤本孝一「擬
- (3)拙著『禁裏本歌書の蔵書史的研究』(思文閣出版、二〇〇九)。

- 三十六人集 全三十六巻複製』〈新典社、一九七一〉)。(4)橋本不美男「御所本三十六人集解説」(『宮内庁書陵部蔵御所本
- (5)前掲注(2)藤本解題。
- (6)前掲注(3)拙著。
- (7)前掲注(4)橋本解説。
- (8)島田良二・千艘秋男編著『御所本三十六人集[二十家集本]本文・

索引・研究』(笠間書院、二〇〇四)。

- (9)田島公「近世禁裏文庫の変遷と蔵書目録―東山御文庫本の史料学
- 林舎、二〇一一〉)。
- 庁書陵部蔵)』(笠間書院、一九七一)「解題」の指摘。(11)犬養簾・橋本不美男遍『笠間影印叢刊御所本四条宮下野集(宮内

10)宮内府図書寮編『図書寮典籍解題文学篇』(国立書院、

一九四八)。

- 禁裏本」(『書陵部紀要』第五三号、二〇〇二・三)。 禁裏本」(『書陵部紀要』第五三号、二〇〇二・三)。 と高松宮家伝来
- 理大学出版部、一九七二)和書之部第四巻『平安諸家集』「伊勢集」解題(橋本不美男執筆)(天14)天理図書館全本草書和書之部編集委員会編天理図書館善本草書

> 桐壺 1道澄法親王

アなるこけってといっすせのかり

からちられているう あつかんかん

かけてにもったからないろうかる

村上先帝一神時中春に

たかかかであうくかってかからくい

はいとあくゆれくのだけがちぬ

りからいまれていてころとうとう

かかって楊貴妃のたうしきしまい

> 帚木 近衛其凞

> > ③重之集

こいしきしめいるしみりちょうし とかこつこいきろうけいろいきいういち からうちゃもいられい けってらかしっちょうしん そうべしえあきいこ うろいかすりです まれてにすっていてるかろしろいろの まるううういろろんけこさきの するとうしろもなっころのもうちあい りてたてるりころうのうととうちょう ちょうしょう つうしてもしてしてられてらんこのろ うっちっていらろゆすいくっきにくっさん 三位の東小野文の大数の中じすとから はぞれくけずんいううそろいろして はくりくくろーれたろからみられない ろくろしきかしもある めつきしのつたけしていろうかろうちもい そうとろうろれたろきしとくかしろうかい をしていいろーこきてっきいちゃくだけや りいろのを一ろう字相をうつしますま 大がくてなどうろうとしらしおらつしこ

するにおるといういろいまな

すべくことにいいかいあっちけるか

くなせまていているいっという

へらたんなすくすむ へんかい

いちられるはの中にあるころし

すいけのはよりしるとくれらつしれ

おりはなくうなりれなりしいと

いてからせるりひけむればれた

そうにまれるんろかそうちょうても しけしていいかるとれられると なけるといいしょうろんかのまとうても のないまかくていりまてかれなかり それてもりっしんいいちなる たられてくても、かんとくなくれてのらん あいてきつかくろんとうかんる それはいっていれてしてくととい るいろうちなうからくうなくなけ えいにあるといけるういろいえ ゆくつとはしまいあっましてもとかい かくてないろんまれるけっかりこ けってるしかくはくろれましてとしまって しんと見くないいまするといるるといるも そうてもろしられるかくてんち なしていいろうとからなるでき していてこれいとけらうもうき

> 空蟬 3日野弘資

かりてからかりるとくなくない

あることなったいろうなのかましてい

4)是則集

ようしまたはうくとゆるにいところ 死のちいくのれていあるれない かんきなくこうかかかかいかん というちゃけなれていまったいのて とけるのりとうろうなはいという かっきろいたろんろんちのまいちる あんなっていけんのとうという けれないのかとあっきいいろう ていなりるたけるまれていている のそれはつきいかときといなったろ でけらうまなられるはる なきりわきられていきがなる物 くっとうとうとうを持てするで ころうかってもいまる中華とくすう るなのはんとうころいろしけるはんなうと そとけい回るなってあめなるけい あるくろくてのそくすないからかん するにいったりていたろといる てていれるとあいやをありとしる 事からるでなるいねるいや

> 夕顔 4徳大寺実維

> > **乔宫女即集**

10斎宮集

> 末摘花 5飛鳥井雅章

かたいきろうりつとうとるく まろうちゃうするるるろん せころくとのとのとかしい そのうへつしれているとろめも そうかとないというとあ おとうとしてものとよりと かかりとうかしろこうとう からそせんとうわれてくろう かしろともしてもれてわからしゃ むがりとかるろうろうたいかーへ とうかったくろういろいとうい いまりをあるするとくろん とうとういくれているろうから もろいりたっかりころう 一番れなークしているとす いとし 多 よ る せ こっかっか 神を月とうとはつとかとかとか 神で月とうことはつこれとするや高れて見れてま

りくける物をとうまくけいき いくいのあろいろととこれもできの 一いかけのいたまままかってい するとうろとうなのうとうとうない ろういてきゆうれどにはす いありはもくそうちゃちる このなきとうしろうときたい なったいととうしていいまるのです 人なういやかきからちつついまろう 人ものたりようけきとはあなって

葵 9日野弘茂

いすっとゆきするっけではしいとか きるくしいともっとくしょ うならきころかめいんのやくく はいちいましてきていてきてい いてるとのようちょりくさろ うけっとうとうとう いらくなくともしてころ かくくないまれていれるける あいもろうでいっかのあろうちた そのちゃいろんかっていて きにの

吃にもかっまるます かかる

一つますこかねなながれはから

りつい人もろゆんるくそいっとのき

うろういうことのまたろうでも

しまけんちいかるいかる

のことひろりくたりりなりな

1がんとくはいつろかつますしゃく ことうかられてきためとかずられれて いずにそてかするからかちいき

いしものなからないかとうないと

てくろうそうじろいととまし 大いとうとともものといういろ もうけいりれているかのかいとう ころうしきていかかかかりか いつけるくのとあるいものうら 1302 りっくけてすっていのか みてらから もとす いるしまときーちこれい あいっとうめてられのもれらり いっこうというちゃくうりん

ちったいからしていまったいとうないかっていまったいからいられいからいっていいというからいっているからいっているのからいっているのではいっているのではいっているのではいっているのではいっているのではいっているのではいっているのではいっているのではいっているのではいっているのではいっているのではいいというできないからいるというできないからいるというできないからいいでしょう

 とかこつこいきろうけいろいきつから ではからいちもかられいいんい いまするうつけらえけこさきの こいしきしめいるしおりからると そうべしてあきいこっろいかすりです けってうかせっちょう まけるにすっているかろしろいろろ うてたてすりらころうのうととうちろう おしていれてからいろれきうちあれ 三位かずい野文力大成りゆむすこかり ちょううしょうく (ヨーランとをようしてしんこのろう) ううかうきらうろうすべつきにくさん はずりくけずんいらうするしのかって そうとろしてんだろきしとくかしきといいい ろくなしきふくもちゃっ キーりくいいくりーこきてりきいりょうくいけや けっとくとうしれたろうちろうのない りいうの数一ちつる章相をうつしまてま めつきしのうだらしていろうかろううちゃい 大がらくてなとうろうろしらしあるつしこ ②順集

からいのうはりつうとし きして ころうとろ きろうそろれ ゆきんのころうとうりか そろろう あしたりける きのいかくしいのちかん ういしいしまるへうされ かとうのいろそのさいろうという ころもつもいるしいしゃ そろうなんと からくる おめっとんしまるしい かんのとのはんてつかる くかのうはうりのちゃううりませんで とのか はっためつとう れいろうはあいまく くめんろのろい とうのりかは 百つまかりはのういかいりというとう 是多り

②友則集

かりとうなかっていのかっちゃんかく それのかろうらはいろくて ついまいかいとのといろくてきる なくれましていせつちゃんのくさ なっちからくろのかとれいのう にわをしていてるようにわていると くていてうえるとしこのしろうる さいうちならにくけられっかつま ろうなられいろけんなれいますっ 一ろうかかかう かんととっとれるの

のころれはしていていろうしはとれて きなかろろうれのれいぬよると せいするとういろとうきなる ろくいかしてとちょうちょうろう あくせらうわしくなかなかった うくちかいとかいするようしてくろう うかろいとけってもちょうしいろうる てなっつりまれている そうやいてこせんなもちとかけら い回されまうらけろうなちっとれる うけっろろうないろりける ろうかってんかったったってす あいていけてくろのりくていれていた ふしまいまりれわちりく うそうのつましていけるりの かられんわてきのくっほからし そらゆうへとたびとうろし ないやかけるないしけるるましての かってくついかっすりかいてきり ヤーラー これいりつきるゆうり 二月はらのひとからからゆう 富ろる所 三月田八子二 延喜五季尚侍被奉命友人份将为 府風依内裏你奉之 延長八年月次中居日二弘務 が 与有内伝初なる

一五

かくられてきとうといとれいろ

意のようあきはつんろうしかから やまっていいかかけっちあってる がなりなないところもかっているりのなら とならなのとうくりてしまってめて でないないなくれとなってはかりいる とおいれるべきべきいかけるはる では物となりなるとうっという のまりなりしているのうとはからでき くまうくそれかしろうちょうろい

須磨

することとうつとているとなりしい

かんのでいられるはい

あれてろとくろうしん

なるないまなれてもろうれとうち

なるかつりかしとントかきい

するからなくいんりしているていっとくろうせい

三年とているころもりからなかり

かいろうくをものるいかろうと

おはんないというかんかっているかってい 物りなけれないないとうかっという おありとあるとありくちというから ないないはいませかといとうう かけるというかかりしてというとう 12裏松意光

子もしろまのからなることのいめこすら かくそのもはとっているぞうのもして すっれてもなしろうられなくますり そろうかいれるからいいいとかけて そううはしというくつらかれ うちかろかりしまういとろろうち いろいものかとかましたかってやとと え唇の作時もいりやりなり れのとろうろるしてくかり そいりかはるアナー

できないければいれるいとうころ

めんとからかないかっかっている

びがかなりませんだろうくかはるらい

万は一個ないなりとうしまうしてきか かなめいかっというりそうんはつ まるいというないからいりして

12清正集

きるんずいてきらっかとゆるに とうからいろうかないろしゃうもろん こくかりくう、てしまりにあっしい うりからいていろとうしろれましろいろい むとうのあるけらやまくしこのゆう えくかりあれてなるやぬれり いまですりとくしてうからのしる あいてのことうやいろうくいなーしる ちょうなる~~のやのけっていて られぬようにけるいまれや それれのべのかしろく かれるあるとの えなこれりいくるすらろう! Brand Jan Charles Commont かきりまするとこれとれてく しょういったったくしもしませとやその うろうのゆうこうとれるうちんえ 代かかりてうちんとろろり 4はりつのまるのないとうのの ころろこからきいしていかしゃしろいろかられかん ②赤人集

くめるうくいいれきましのかい はのるとうとうなっているの なからいっていているらいかっ らっちからからいっていろとらく としくなんだからそろれくた といえれのからんとないまとうた かっていていいいつからまで かくる ゆしてたらいているち ずるというしゃいのうとなかし いっとっているとうしゃしょう

14園基量

ころけていることにていてしためのろに

するだりをくとなりこすへならいか 集

むろしょうごとおりしょうハヤハ

するろとしらしてい

むくろたまするよりへいてするれてても 我こといるよいれあしのうっなをりから わってに人いきしてくてくろく まつくくるばわれているろん かれるとまれていてやとるまーし うたくもやするようらいろんこし からいのころとのとうなってい そのっとろ、ころうもししょ からとめこともおもちらっていて てかするいのとううとうとい なるいえ 村とのはいろうくのないとす

られいかとういろくうろしたろう

しいっていかるかいいろう

ふやるとととなってかくのろはしゃなと

んちんりくけりのうかとりはいい

うないりまうけっていいませるのは

あつしてきんなしょうくのしとく

引きならしてよるんいとくかしう

ないればきれたのとけかった というとのれれはれるかんと うはけるするないしている

一八

うゆうにくてるりてけるようとなる はそいけないとあかりちょう たりつとのきいめのからる くようこれくこの感わずって 京しかかろうのとからいいるとい のからるかせきいろんしゃころあ しりいろんろとも車ではること りつかるに門あてていましたから すいくまろうけれている 一からうんしけてとてまったうつく

16鷹司房輔

かいうからてくらうとうことも見ます。

のかってありなくもとうし

ではとれないでいるかり

神角のまってあるとてゆうるも

うつのかけるできというつのいきまに

ろてるか

はってとくわれていましいかましても

からにおりしかく

おかっつかりてもかをころさしくいろうい うへんないろれ中あるようける

なっていちゃくこれましまりあい ろうなけんしているとうとない かいのろのちかかりかりもうちり くろべくっというわせけってか かりのとれるいといりまるからけん いろのっともいめりけんわせ 看日のなく人もとかであるらいろ

うてくられつろんいなりを ているが中のもろしありく

そろはいらうみの車というろ

をよりうとうもてからかる

かく おもくしょれかしゅうとも そうしまてまりまるのかとかい

ちっこのそろれっていまとから

はくさくゆき、てきにきりてから

か~~なんろくかあてらりか ~あれるといるとしまってすること

一九

胡蝶 23柳原資行

6敏行集

24真敬法親王

のまかしいとゆうにようころとろう うかんしたまくとり かりあった うまたくまいろいきくれて けつきつけるかけっさい るっちいっちりてかんろいま いしてかしきこしているころわっ とうけいれてきてていいの られましまけるうというころい そんさってかってくすくいれてき くうはっちいまかいけるきには つきんてはすくくうくんでとし すにからくろとしてきましてりと ほっついいかりときしから さらくさんかられないとうかに れからつくさきれなるのる てろいよういるきりをいるいろうるう いくうりしく にけるとしといろ 人となっているとなりいるか これかりまというと

ワからいいいす しまる こうけからまけのうりもろくれい するのろめていってん

1つまかりてつかることというところいうというというできまったいというかのであってのからいろろうへのというからからいるのでは、ころとのできまったのできなのできまったとなのできまったとなのできまったとなのでき あてらしているいあけるこれのいのちょうしょくいっているとうとうというとうとうないからますいり

いっていてきないるうちは したろれるらい取つれられて

のりらりくいまくれる世やい れりとうれりてきりとはるいろう てきっせんずいくまちゃりはくろ こまるいりでもからろうれ あるうからいとまわけるってるでな つままかくうりとくなっとはつと まつかいるかろうちょてとうりと いかりということれいきか らっていちんのうからおうのい もつかららてはないろう

> こうとういうかのしてあくらくらくから そうしかいはなりといつからかられらくう うつうろうけいうりゃくうれ かせめきしなくかうう すべくうかつううう ところうつりろれからけやとをいうう もちってわりるとかり

きるうしっろいろかしているとけ そうくとりとうかくろうから それからなることのりといううんない からきをそろうろうるうし さかいかそういのうえのち込むを一の。能力をこうくりょくこうようすくう なくろつるのあろ 長之看

きっちょんといれているすれ

ははどのまはわるかという

まるうないねりちきるち

しるういちないかいといるい

うちてわられなりいものか してていたろうろうかいける

きいわろいのからとうてくなしこる

なられているとうこうまちょう いるいところうとうとうせるん なっかくしょういろうとう できかれつうのやすくれきかしているとのとゆうとん するからいしからっていてもろうかと うなういわけられからる くれつりかいくするちてした すとも をパーラー うんしとしとしょうちょ らえーこくりてもろうんとも一は くそのやかからはこのかりく いるからいかりちょうくいく してるいいちいろうか うついさかりのれとして それらろかかがしのみりし ②遍昭集

ないやうろうのやするかろうと すくしつきいるしな さらびっつりる はんといろしょうからまるしける ちるかけるなるれてついまっと そうろうれとあらたはってるれ なしれをめてくろけるは果 ついのかしかられる なっちょわりるちなるのくり 肥後守は原元神らたるちとなるこ かいっくはして好のゆいべりは くれしていてのっとうとろうくろる をようしせきこれれる なしてからりゅうのないとくる ころろして 三月己らに ゆいてくなのくるしていいてうり おり一中町の名かけ というくいつかしてらいろろ ろうしていのとれことかりによく

野分 26一条冬経

人人来上 くっからいかのとしているとうない。 ころいからいかのとしているとうない。 ころいからいかのとしているとしている。 ころいからいかのとしているといっている。 ころいからいかのとしているといっている。 ころいからいかのとしているといっている。 ころいからいかのとしている。 ころいからいかのとしている。 ころいからいかのとしている。 ころいからいかっている。 ころいからいかっている。 ころいからいかっている。 のいからいかっている。 のいがっている。 のいがっている。 のいがっている。 のいがっている。 のいでは、 のいでは、

園軸院のひりましいけっちん

ねいろく

うれてきなめられてられなんもめし のしてというくるかったからある くいなかれてもいゆうずくれてい からううちょうろんちしまりる 兄はなりてえよしねとていりの中い やするのかっくりととれからか こかというくているっあかりかく るとていしなりの体分をあれたも かったわらいりとしてつりたらかろう ないれるとういれりあるといかけ

真木柱 27今出川侍季

をなりまりいくかりなしろいろう えるるころりれとめる さし そりっくしくるとうれとないろうな すてきついんいとはなりいてまた いうかんしゅうれるしんとえ かくゆうしてかるようはかいりとけ 一行うるいちつうでしているようるとい やれかてましたのはりくしてか えしくなるめいとれてろめいめ れはとといわりいるからしてあれらく

> すりしていかりへめなるとれる うろうからけてけるこれであいろう すりているかり一人もあけるかん いいまうはするようかかい いるだとくとういいのでも ⑧兼盛集

後というはつくしっせっからい かりきつといりってや なけかけれられてきるけるのうけ からっちくまてきるけんけるの かくこうちょりつきもかあまし すのうれなしかりれるある くけうは夢り人のたるでは たるひつとうわられまい きになるしまりしょ

一人すりあいっちゃとも いううもからいるしきとりみら いろしいからいりなりかいてあらけからとさらりにうとうかけるとっちにうとうやけるかんれと 行からかりあているともと そのすることのかいろうとのあれている いられかいからのうわらんには やいわれいるまれしいもうこうかよきて やるとくいやあわらろうろうしゃ うしとすくなりろうのちゃんていと としていてるかいまてつかてもわ かきかりからまちょうからいちろう ひかいという!!! 今かるかとうれいこう あとりいないこ かいてきわらわったかき人いろのこ いれやいていろんとるけるころろと いっというととりへき うせいりちゃう 行うちかたるいこるとしま いきおうとそいるけり行るときの

20伊勢集

> 梅枝 28今出川公規

もうなるとといういれなとなるさくめれんされるれなくなくちょうさいいあくせくみないとうとういうからからしょういるこくには、

ちてんるといきかりましている

れてみからのうかろかれていてからくにろうとくのつてっれてから

あるちょんとはいくりかられられているとうけんかられるといろいろしているとうなるといういろというとう

 からうとうこくてきろきね~(ならうとうこうごろうなくてろいきねとうなり、していまないとうなりのからからからからからからからないまとくないされてしょうではないまといましたとからかしょうにはましていました。

うちないくからはきれてわるといわれいあろうないからうのか

けるっていかけるいゆきへの

二八

若菜下 31三室戸誠光

をやりなまてとりようまなことにおる すりなるがあられるなんろし それないるちあれれるころかいれる かないなっちのいくをあれたとうなり それのうとというかなり、いろうま 行りないれているとう うろいなうまをふしいるのなれせる いいかとすととしてする ひとれうけていかしっましれる ちもしおりれるれからしぬこくれかえ それいしているのへろ むしれてるとにかと言りいれる えるようしくるいれるかくて もれくすろうられてるきしらい れいするろう すかららかしるとんうち

こかていてきまりともしてなりう

いっしきんからやするいしいてい

さいろうななないのうととしる

かけくかいなっているころいかないかん

あいるかのかんかのからいろうで

ついていていれるいからいますかってんいかまちいとれずくならへのかいしんしい

ないをなしろうくめとかくて又ないから

ける時のままでしるおけんない りけておくまろうとからけれて時去 たってそりこまりはこひるとかせ えぬうないなかまいけれる ぬりとうすかっかしくあいかとは すかいなくとなれれなかりはるとれてある かけってるちはいちてこりかると 33押小路公起

とういなってるいのいとあるれる すいかきははあくるあるないのはと これらの人のかいかろうちょくかり からなりってちるめなかられる さてまかんなれているもろはっている をいめけるからとちもろくりろ とまっていけんはいりもとうし ありしいはれかこうはいむとはる りよういきろいとのあるかろうち こえけるいあいるもとれたいなるく

> そのすくはいなわしったかし なってれずくかつえはっているとう はちけいさすかわくまれるくめんけ ちとはいれずるかつはそうれたちろれたちいうとははちやくらいくれいろういはちゃくらいくん けっとして多りくする人はなるはいます いろうししくしょうしてさくしょうれ さられるないという人へもある りとをでのやへなすからやけったー つける はいはないとの れることろくるも そうけれる さんてからはればあるるかとちりわ 中春了了の中三十一个日子相 未在院乃事病的の云子面月一日

ゆうろれてのはくないかいない

たいまっなけいのあるから かきったはくのいろはけるくこめ

夕霧 35小倉公連

のからからももかってるい かくくすちろうできれるしいうち 行れるみるるるとは はかいいろう くらいっていっちゃっとうかっ することからしましまりたちまれ かしるりからかる~ いろうれちういくときれいける あかえく いりましたからなれるからくし いくろしていますしてするれる こからくそんしていてきているといれているというとうというとうというこうからくないとい かくしていているかかっている いっともつからかっています 伊角見もとううななかろうち 大りるいからいろうとうかっていない ついらうかくかるしほとりよう

てかあることおとれられていまうきろ

ろうなゆいかからいるるろうらしち

てちいろでもれてっくてあり

それからないかってけることでしてい

するられりまくいちょうちろうこん

かともくはうれりしのちれゆうれ

えんれられといきていれのきれの

ると、なくするのかはこれからからいれるととはいろれてえしとないって

二年中五八年五十四十二五十四年

とくれるはしるべのちょうないと りはとしくいいちろうかくされ すらんゆうろんといういまけ わられているいとれかった 36正親町公通

かられてきるとしているとう かってもやすしものないとうしてい をけっていっていとこかいととと うしとうるくるいろうり

そとりいついろくろんかいからいるか

かってきりというしいのと

とろれかられからのちん他のしかっ う人一般ならくのうにからてあい

れるいかいかくてもろしてかい

からしていているいからっとろと

のかいとりなしとらうかりかん

れるてそのちてきていれている まりいとはりは25かしとかい するからかんなんなんいいのという するれかっからにもられられ しからいろうれいてるもとか ればしていているとうないとかりかり もっていないいまろいわったけにもしい かられかりのきてわらから かいかとういともいというこの

⑧敦忠集

からかうといくこくと けいとしていりょうの

くかちられるわなりれようれから

う人乃きはのちきなというい

あえないかっとうれておいしのいおいん

なんかやきいましかろうとうき

もつとうなるあくはいとおまのにてい

してはいつきくのくしとれていること

うれときくたものかく

物と見きあえるいるいろろうち

ままくいやとくてろわられる

とはっくくへんとにつのきれれしとい

えるかけていりとれかりいてい のほんはいりるであるるい かいわらのしからとけて れかりるべめくうちうゆれっとうと くてあったおけんまりをさるなかっ ろちっくりくけっというとう おかいろれむくしょうちあいまつ おしてしていなくかしるんろ かしてつさればしていまりられて かららないっている 椎本 40中御門宣凞

いりとろうこれとろりそうれなど なくうろうかろうかいちょうしたっちっちょうしているいろけられているからかいちょうし からうくうとかろうしてりてもしめるころうれかなからあるのしてたまり うてなって、うてくというとうちなない くのことくうこうれとらのからは、計画の ソりくやらしてうちょうかくらくからしてき なったいとしなくことめとくなっ うがもろういく

> 素けんもくりかろろらへかゆつりをおるすらりからからからから はんしょとうこれらくくろでアクラとは はんちってノアノいすりアファしてのくろ からうろうちと いったっているというとうと かいないかりかって 0.77 to 50 / 18 / 18 / くっくとうしょううううろん おけるこれか 気信る つろいろないる情中心とろうい おいちのしちょうる つるしつつついくりとりゃくから ていうしょもかられるり かく あっしょうかりょうかくとうい 一日一日 ここと ⑨公忠集



上冷泉為網自筆短冊(センチュリーミュージアム蔵)

(三六)

すってろうきともらみないさい 子でからしてもろかとうしく てかんりけのぎるうとたかしる こまれとうらくのまちゃまかん うかかくきょうるんちか とてきらくかでんあるこ するまたゆくでなくいひうじてい でぬういつれかくているとのねい て行るいろろうくもくためたりい そうなしてかりますとうないとう ハ大まのゆうゆってもくしくちす するうなとれかすると月かれたとれ かりいからいいてしてるいかのめっ なるからとかまりして わってきまくれくかられるとい かつうっんかとくだちょううか あやしくうじまくかさすりろう りろこいかられてるはろいつ

藤裏葉 29清水谷実業

さるとろうするでしまし をぬかとうれるあかした せうさうかとくしてすいろう るろとろうかれりますん たりしまして月かります くれみけしころもんいすりこ りして むとく ころうしょりてぬ そうとうちょうのいろとし ろうとるとうなみも れらいろんかいますっというと ていますからするうまとこれと いかすかれかけるとうろ さのうろいろうてらくても こさるかろうかるくしと れはくやつねいかとをおかり いどのはをう やきろうろうというか そしれとればってかりても ーかいってみうるいろー